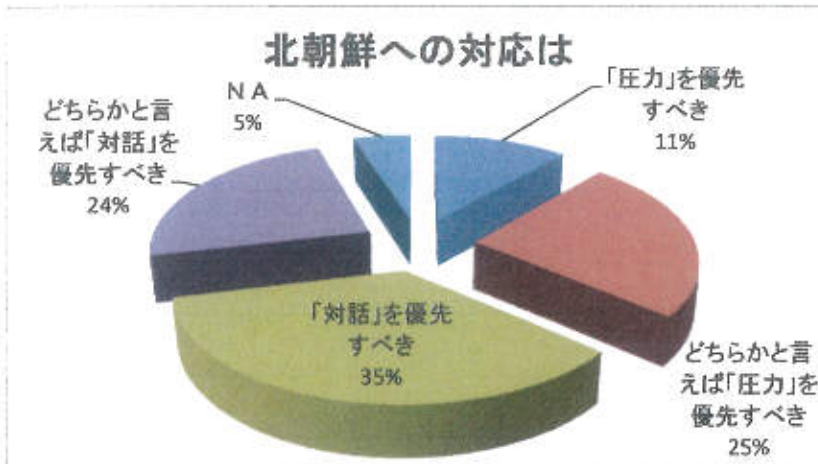
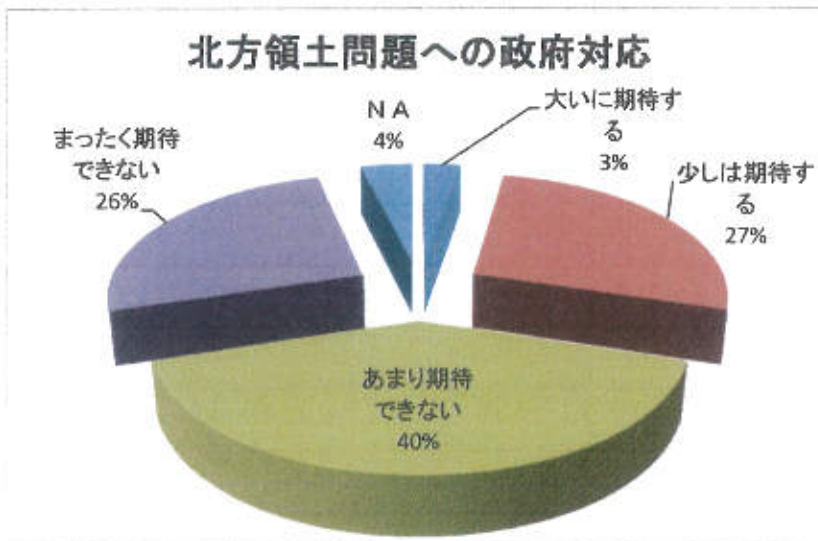


北朝鮮には「対話」を優先しつつが6割



	%		
	「圧力」優先	「対話」優先	NA
党员(議員)	41.4	55.7	2.9
サポーター	35.7	60.7	3.6
女性	31.7	56.1	12.2
男性	37.0	59.8	3.2



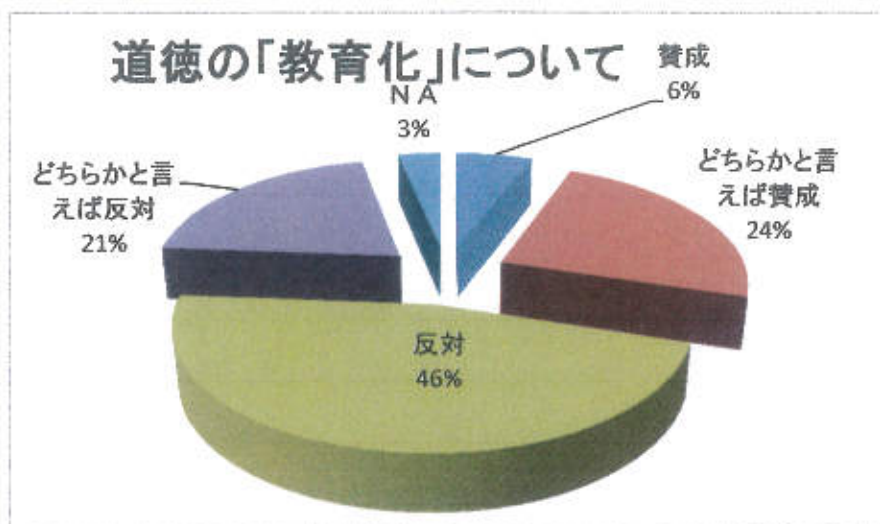
	%		
	期待する	期待できない	NA
党员(議員)	30.0	64.3	5.7
サポーター	30.4	67.0	2.6
女性	31.7	61.0	7.3
男性	30.7	66.2	3.1

(参) 世論調査

報道機関	報道日	対話重視	圧力重視	どちらも
読売	7月10日	37.0	51.0	
FNN	7月24日	33.8	59.9	
NHK	8月7日	27.0	30.0	41.0

教員の働き方（多忙化）の改善には全面的支持

道徳の「教育化」に一定（3割）支持

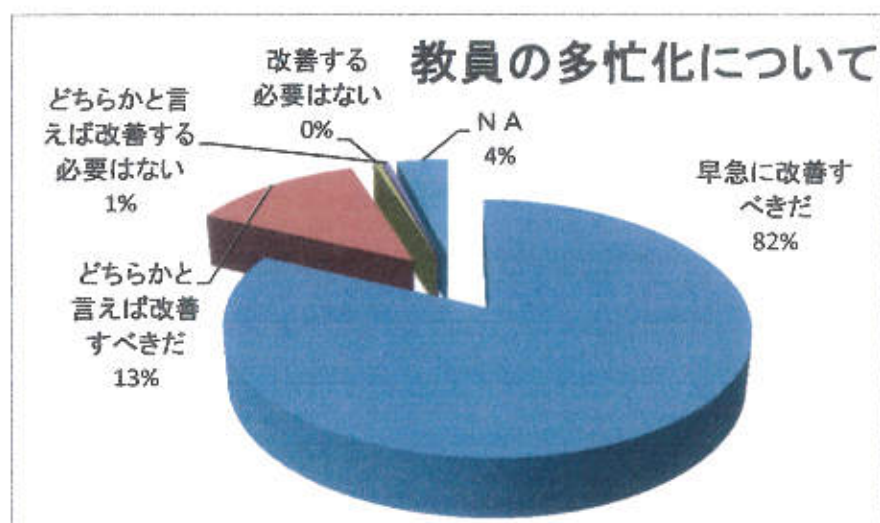


	%	
	賛成	反対
党员(議員)	22.9	72.9
サポーター	34.8	52.6
女性	29.3	63.4
男性	30.7	67.0

<注>NA除く

	%	
	賛成	反対
20代	83.3	16.7
30代	52.6	47.4
40代	25.0	70.8
50代	14.2	78.6
60代	28.6	65.3
70代	30.6	69.4
80歳以上	25.0	75.0

<注>NA除く



	%	
	改善必要	必要ない
党员(議員)	95.7	—
サポーター	95.6	1.8
女性	92.7	—
男性	96.1	1.6

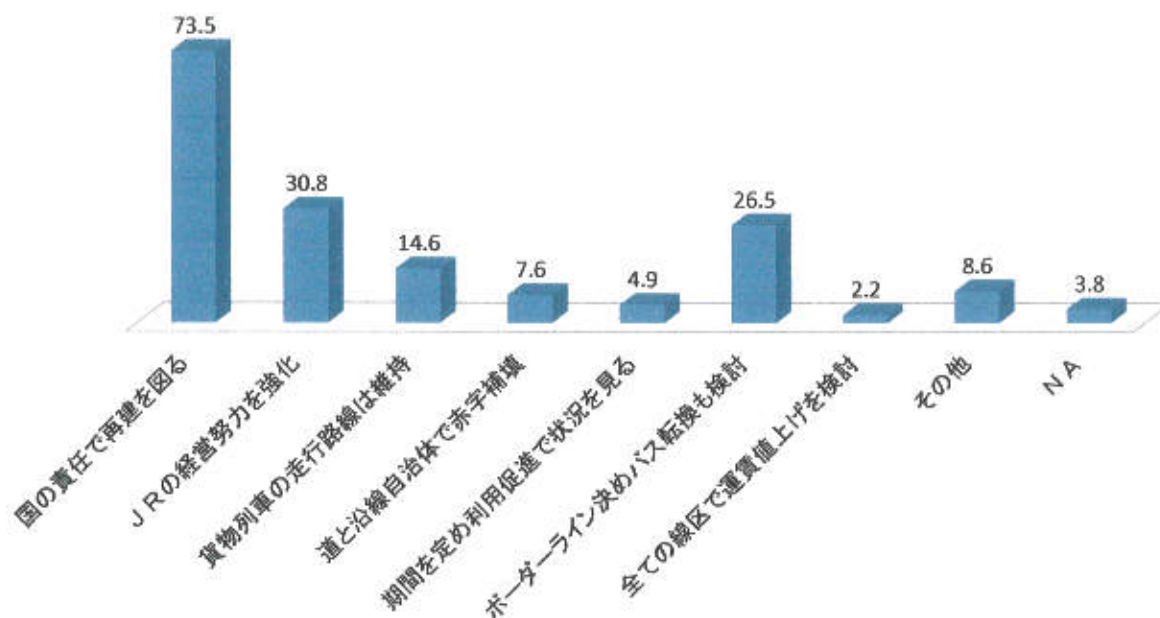
<注>NA除く

	%	
	改善必要	必要ない
20代	100.0	0.0
30代	84.7	5.3
40代	91.6	4.2
50代	92.9	0.0
60代	93.9	0.0
70代	100.0	0.0
80歳以上	95.0	0.0

<注>NA除く

JR北海道の再建 「国の責任で再建」が基軸

JR北海道の再建のためには
(いくつも回答%)



%

項目	全体	地域名								女性	男性	党员	サポ
		厚別	江別	千歳	恵庭	北広	石狩	当別	新篠				
国の責任で再建を図る	73.5	84	71	75	39	100	86	92	10	29	97	83	69
JRの経営努力を強化	30.8	44	26	19	46	40	5	25	—	8	43	31	30
貨物列車の走行路線は維持	14.6	16	12	31	19	—	—	—	—	4	21	14	15
道と沿線自治体で赤字補填	7.6	7	8	13	8	—	10	—	—	5	7	9	7
期間を定め利用促進で状況を見る	4.9	14	2	—	—	—	5	—	—	3	6	6	5
ポードーライン決めバス転換も検討	26.5	35	33	25	27	20	5	25	—	12	32	21	30
全ての線区で運賃値上げを検討	2.2	5	—	—	8	—	—	—	—	—	3	1	3
その他	8.6	5	12	19	4	20	5	8	—	3	12	9	9
NA	3.8	2	8	—	4	—	—	—	—	4	3	4	4

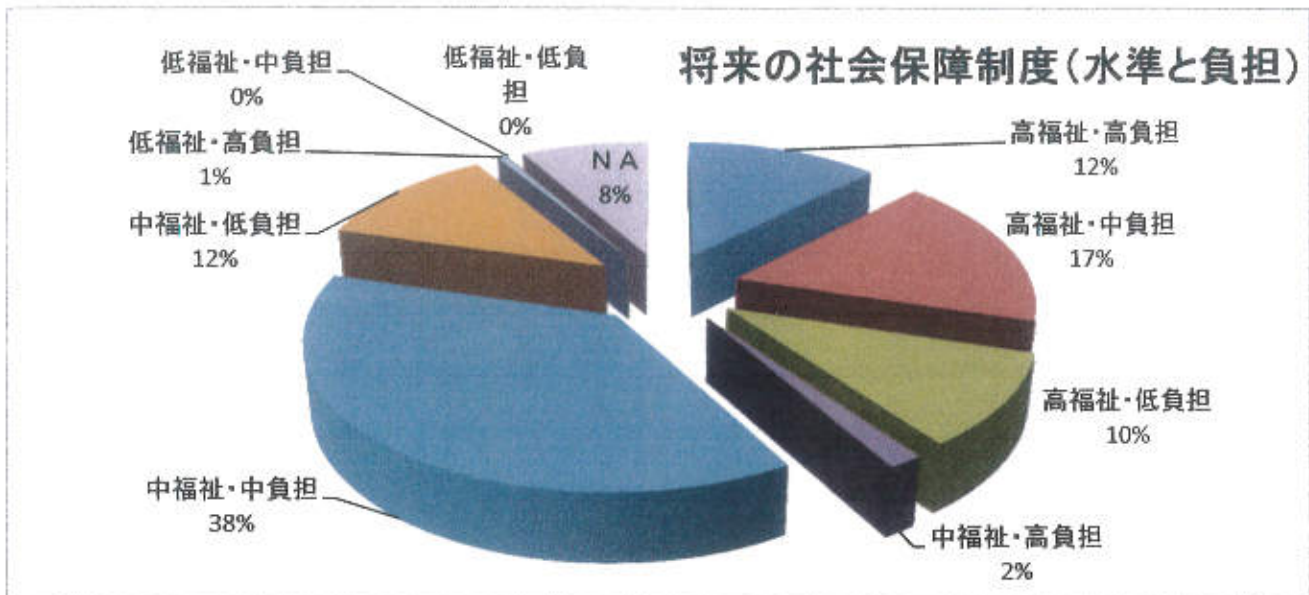
☞ 記述式回答内容は、【別記】を参照

J R 北海道の再建問題

1. J R 北海道は、独自の経営は困難であり住民の足は国で責任を持つべきこと（当別・男性）
2. 公共の交通機関を維持するには税金を使うべきと思う（北広島市・女性）
3. 利便性の良さを追求し車社会をカバーできるような方策の検討をしてほしい（北広島市・女性）
4. 効率の論理だけでは一極集中がますます進む、その結果が人口減少や格差、国は全国を結ぶ交通網をどう考えるのかという基本論が必要。領土として必要だけけれど、国民が安心して住み等しく発展する国土としては必要ないの？ どのような交通網が必要かを考えることから始めましょう（江別市・男性）
5. J R はもっと地域に正面から向き合うこと、沿線自治体は J R を含む公共交通のあり方を検討すること（男性）
6. どんな形でも線路は残すべき（石狩市・男性）
7. 麻生副総理が先日言っていた「国有で良かった」と（千歳市・男性）
8. 10 区間 13 線区は、廃止すべき（千歳市・男性）
9. 基本は国のテコ入れが第一だが、J R 北海道の経営努力（保線の相次ぐ事故、不祥事等を含む）が不足と赤字路線の早期見直し（バス転換等）が無乗に近かった。道知事の無策・指導がされていなかったのも大きい（厚別区・男性）
10. 維持する前提で運賃はいくらならできるかを J R から出させる（厚別区・男性）
11. 大動脈となる路線（札幌～釧路、札幌～網走、札幌～稚内、札幌～函館）は、国の責任で維持すべきである。経済効率だけで考えるのはこの問題は解決しない（江別市・男性）
12. まずは基金の見通しの総括をすべき（江別市）
13. 昔の国鉄時代の甘えが J R 職員内に残っているため、改善が進まないのでは？（江別市・女性）
14. 都市部の防風林を国が買い、地域で育成する（江別市・女性）
15. 組合の一元化をはかれ（江別市・男性）
16. 観光事業にも努力が必要（恵庭市・男性）

—MEMO—

将来社会の水準と負担＝「中福祉」「中負担」が軸



<期待する社会像(%)>

- 高福祉・高負担(12.4)
- 高福祉・中負担(17.3)
- 高福祉・低負担(10.3)
- 中福祉・高負担(01.6)
- 中福祉・中負担(37.8)
- 中福祉・低負担(11.9)
- 低福祉・高負担(00.5)
- 低福祉・中負担(00.0)
- 低福祉・低負担(00.0)

党員(議員)	サポーター	法人税率引き下げ		資産課税の強化	
		賛成	反対	賛成	反対
	15.7	10.7	21.7	73.9	21.7
	22.9	14.3	—	93.8	9.4
	8.6	11.6	31.6	68.4	—
	1.4	1.8	—	100.0	—
	37.1	38.4	5.7	85.7	8.6
	8.6	13.4	18.2	77.3	4.5
	—	0.9	—	—	—
	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—

<注>NA除く

<期待する社会像(%)>

- 高福祉・高負担(12.4)
- 高福祉・中負担(17.3)
- 高福祉・低負担(10.3)
- 中福祉・高負担(01.6)
- 中福祉・中負担(37.8)
- 中福祉・低負担(11.9)
- 低福祉・高負担(00.5)
- 低福祉・中負担(00.0)
- 低福祉・低負担(00.0)

安倍政権の経済政策で格差・貧困拡大、社会分断が進行				
そう思う	どちらかと言えば	そう思わない	どちらかと言えば	
69.6	13.0	17.4	—	—
68.8	25.0	—	—	—
63.2	26.3	10.5	—	—
100.0	—	—	—	—
65.7	30.0	2.9	1.4	—
68.2	22.7	4.5	4.5	—
100.0	—	—	—	—
—	—	—	—	—
—	—	—	—	—

<注>NA除く

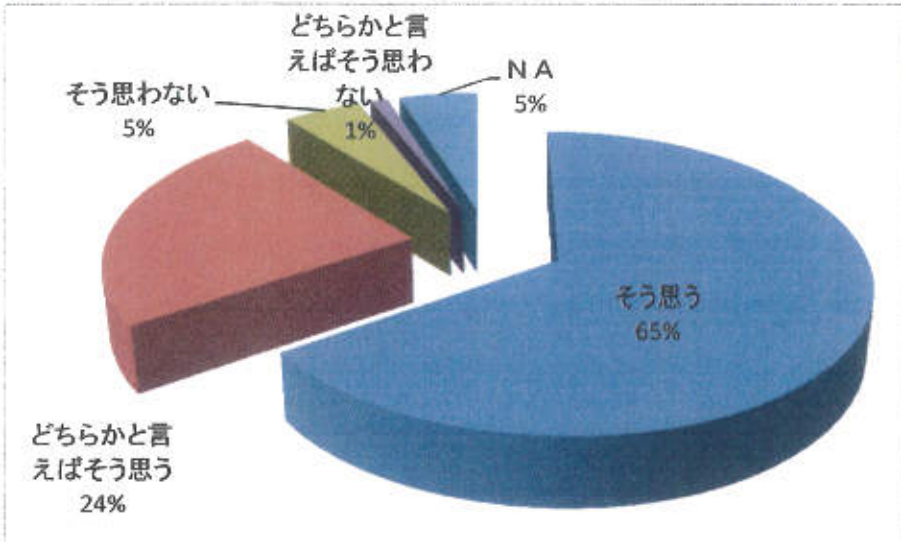
%(小数点以下四捨五入)

	女性	男性	20歳	30歳	40歳	50歳	60歳	70歳	80歳
高福祉・高負担	12	13		21	17	7	14	6	15
高福祉・中負担	12	21		11	13	14	14	33	20
高福祉・低負担	10	10		11	13	7	12	8	15
中福祉・高負担	2	2					6		
中福祉・中負担	27	40	83	37	46	46	35	29	25
中福祉・低負担	20	9		21	8	14	8	17	10
低福祉・高負担	—	1					2		

<注>NA除く

8割が「経済競争力」より「格差是正」を優先 社会の分断が進行 9割が認識

「アベノミクス(経済政策)で貧困と格差が
拡大し社会の分断が進行している」か？



	%	
	思う	思わない
党员(議員)	91.4	
サポーター	87.5	8.1
女性	75.6	12.2
男性	92.1	4.7

<注>NA除く

	%	
	思う	思わない
20代	83.4	16.7
30代	94.7	5.3
40代	83.3	8.3
50代	85.7	3.6
60代	85.7	8.2
70代	94.4	5.6
80歳以上	95.0	

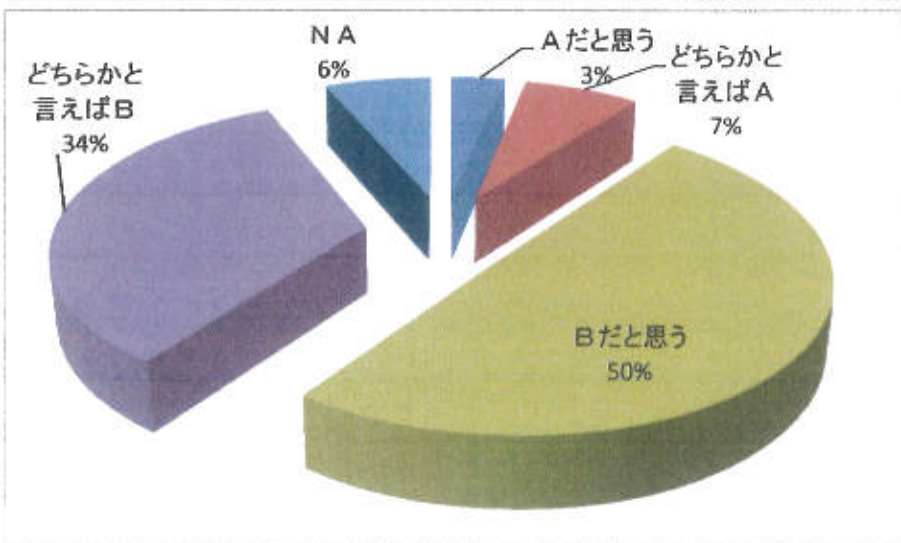
<注>NA除く

★★期待する社会像☆☆

	%	格差・貧困の拡大		NA
		思う	思わない	
(高福祉・高負担)	12.4	82.6	17.4	—
(高福祉・中負担)	17.3	93.8	—	6.3
(高福祉・低負担)	10.3	89.5	10.5	—
(中福祉・高負担)	1.6	100.0	—	—
(中福祉・中負担)	37.8	95.7	4.3	—
(中福祉・低負担)	11.9	91.0	4.5	4.5
(低福祉・高負担)	0.5	100.0	—	—

「競争」と「格差」

A経済競争力とB格差是正のどちらを優先？



	%	
	A	B
党员(議員)	12.9	80.0
サポーター	9.0	84.8
女性	9.8	78.1
男性	11.8	84.3

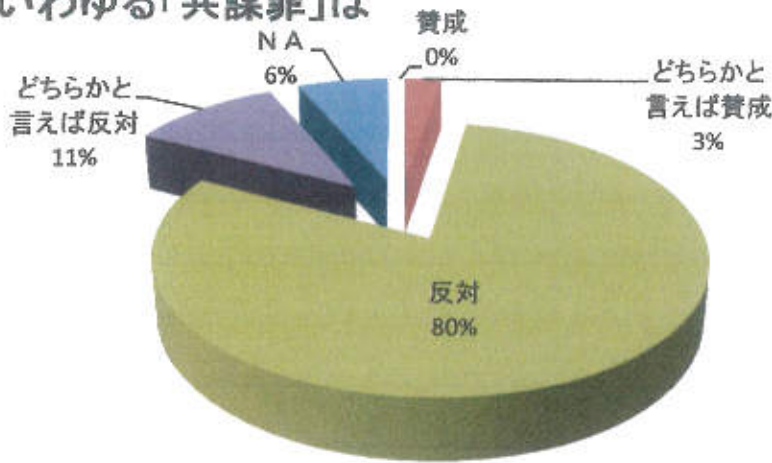
<注>NA除く

	%	
	A	B
20代	50.0	50.0
30代	10.5	49.4
40代	25	66.7
50代	7.1	82.2
60代	8.2	83.7
70代	0.0	100.0
80歳以上	10.0	80.0

<注>NA除く

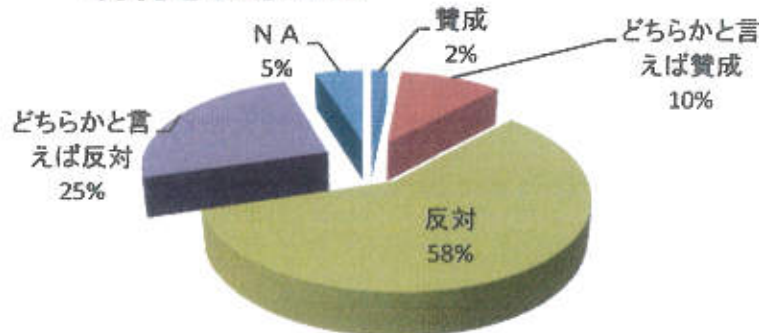
国会議員「クォーター制」導入は6割が支持 「共謀罪」は9割が反対

いわゆる「共謀罪」は



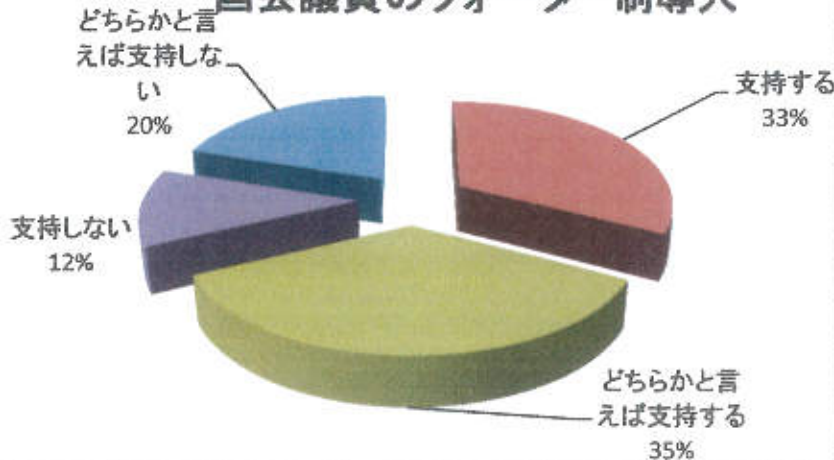
	%	
	賛成	反対
党员(議員)	4.2	90.0
サポーター	1.8	91.1
女性		92.7
男性	3.9	89.0
<注>NA除く		
20代	16.7	83.3
30代	5.3	89.4
40代	4.2	83.3
50代	3.6	85.7
60代	—	91.8
70代	—	97.2
80以上	5.0	95.0
<注>NA除く		

治安のために個人の権利が
制約されるのは



	%	
	賛成	反対
党员(議員)	8.6	84.3
サポーター	13.4	83.1
女性	19.5	73.2
男性	10.2	85.1
<注>NA除く		
20代	50.0	50.0
30代	26.3	73.7
40代	12.5	79.2
50代	7.1	85.7
60代	6.1	83.7
70代	11.2	88.8
80以上	10.0	90.0
<注>NA除く		

国会議員のクォーター制導入



	%	
	賛成	反対
党员(議員)	68.6	25.7
サポーター	62.6	32.1
女性	73.2	17.0
男性	63.8	33.1
<注>NA除く		
20代	—	83.3
30代	63.2	36.8
40代	62.5	33.3
50代	64.3	28.6
60代	69.4	22.4
70代	63.9	33.3
80以上	75.0	20.0
<注>NA除く		